

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	町史編集委員会		
日 時	平成22年7月7日(水)15:00～17:00	開催形態	公開
場 所	寒川総合図書館会議室		
出席者	委員：圭室委員長、木村委員、大口委員、内海委員 欠席：鳥養委員 事務局：高木副主幹 傍聴者：なし		
議 題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成21年度寒川文書館事業結果報告について (2) 平成22年度寒川文書館事業計画について (3) 町制施行70周年記念誌について (4) 普及事業について (5) その他 		
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成21年度寒川文書館事業結果の承認 (2) 平成22年度寒川文書館事業計画の取扱い (3) 記念誌の内容の承認 (4) 町史講座の講師・日程の決定 (5) 会議録承認委員・次回開催日の決定 		
議 事	<p>(1)平成21年度事業結果報告について</p> <p>資料1にもとづき、事業結果について事務局より報告したところ、次のような意見があった。</p> <p>（委 員）地域資料の収集のところで、所蔵者から公開承諾を得られた資料群については、どのような特色のある資料なのかをここで説明した方が、利用の促進につながるのではないかと。</p> <p>（事務局）巻末には閲覧可能な資料の一覧を載せるので、ここに簡単な資料群の解説も載せるようにしたい。</p> <p>（委 員）講演会や講座についても、その内容について簡単に触れたほうが、成果がより際だって見えるのではないかと。</p>		

(2)平成 22 年度事業計画について

昨秋から検討してきた事柄だが、6月30日に開催された文書館運営審議会で最終案を審議したので、これについて報告した。これに対し、次のような意見があった。

(委員) 予算削減の結果、何ができなくなったのかを明記すべきという審議会の考え方には賛成である。さらに踏み込んで、予算削減があってもこれだけ利用者に迷惑がかからないよう最大限の努力をしているのだということを、表現の随所に盛り込んでアピールすべきである。

(委員) そのような趣旨からすると、マイクロフィルムスキヤニング委託も平成 21 年度はできていたのに平成 22 年度に予算が削減されたためできなくなったことなので、「資料の保存」の欄に一項付け加えておくべきである。

(委員) 資料の寄贈・寄託は可能な限り推進してほしい。所蔵者から寄託の打診が実際に 1 件あったとのことなので、まずはここから実現してほしい。地域住民の大切な資料を預かって後世に遺すという、文書館の役割や責任の重みをアピールする絶好の機会でもあるからだ。

(委員) ボランティアの皆さんが資料整理などに一所懸命たずさわってくれていることはよくわかったが、文書館を支えてくれる人たちのモチベーションをもっと上げるためには、もう一工夫が必要なのではないか。参加してくれる人たちが自主的に資料調査などを行い、その成果を展示なり刊行物なりで還元してあげること、**「みんなが足を運びたくなる」**がより実現可能になってくると思われる。そうした趣旨のことを、「ボランティア」または「課題」の欄に追加してほしい。

(3)町制施行 70 周年記念誌について

内海委員と事務局で打合せ、台割りおよびページレイアウト案を作成した。これをたたき台に概要を説明した。内海委員のねらいは次のようなものである。

- ・町制が施行された昭和 15 年ごろに絞って検討したが、1 年分の話をもとめるには資料が乏しく無理があるので、敗戦を挟んだ昭和 25 年までの 10 年間の動向をまとめることにした。
- ・戦後は特に、真田喜一町長の事績、とりわけ文化事業の推進という側面を顕彰する内容にしたい。
- ・初代町長広田孝基の長男・広田孝平さんと、初代公選町長真田喜一の長女・

